

「大山町に伝わる民話DVD」完成上映会

10月24日(土)



DVD「大山町に伝わる民話」の完成を記念して、10月24日(土)に大山町総合文化祭会場の名和農業者トレーニングセンターで上映会をします。

このDVDは、大山町高橋の片桐利喜さん(故人)が語られた民話の音声記録を、地域の共有財産として、公開保存していくことを目的に、図書館とアマゾンラテルナ鳥取大山オフィスが共同で作成したものです。

町内の読み聞かせボランティア5名の方を語り手として収録した民話、全10話のうち5話を上映会で披露します。

地域に残された大切な民話は、次世代に継承し、永く残しておきたい地域文化の一つです。たくさんのご来場をお待ちしています。

呼んで読んでキャンペーンにご参加ありがとうございました

「呼んで読んでキャンペーン」にはたくさんの方にご参加いただきました。「おすすめ本の紹介カード」を読んで本を借りる方もあり、本で人がつながることができました。紹介カードは、来年の生涯学習大会で展示します。



読書週間

10月27日～11月9日

「いつだって、読書日和」

<夜の図書館 おばけ話会>

11月1日(日)

18時～18時30分 本館

<本のリサイクル市>

11月3日(火)

9時～16時 本館

司書おすすめの本

「人生に役立つ都々逸読本」 柳家 紫文著 海竜社

「去年の今夜は 知らない同士 今年の今夜は うちの人」

都々逸(どどいつ)をご存知ですか?

江戸末期、都々逸坊扇歌(どどいつぼうせんか)という芸人が寄席で流行らせたのが起源とされ、七・七・七・五調から成る民衆の唄のひとつです。また、都々逸ではないですが同じ語調のものと言えば「お前百まで わしゃ九十九まで 共に白髪の生えるまで」などもあります。

「惚れた数から 振られた数を 引けば女房が 残るだけ」

人々の生活の中から紡がれ、小粋で洒落た言葉の世界が満載です。

秋の夜長、こっそり一節つけてみるのも一興です(た)



図書 のご案内

一般・文学

- ★海のみほろば/秋月達郎
- ★金魚姫/荻原浩
- ★富士山噴火/高嶋哲夫
- ★おいしいものと恋のはなし/田辺聖子
- ★JUSTICE/大門剛明
- ★笑う少年/樋口有介
- ★本質を見通す100の講義/森博嗣
- ★フランス人ママ記者、東京で子育てする/西村ベカリン

その他

- ★お金が「貯まる人」と「なくなる人」の習慣/山崎俊輔
- ★原爆と戦った特攻兵/豊田正義

★戦場体験者沈黙の記録/保阪正康

★鈴木さんちの遺族年金物語/宇代謙治

★十代の選択/プロジェクトi

★「子供を殺してください」という親たち/押川剛

★好印象を与えるママ&パパの子連れマナー/岩下宣子

★図解知識ゼロからの畜産入門/八木宏典

★高校野球100年/週刊朝日編集部

児童書・絵本

★彼岸花はきつねのかんざし/朽木祥

★ジンペエザメのはこびかた/松橋利光

★声に出して読みたい小中学生にもわかる日本国憲法/齋藤孝

★せいめいのれきし/バージニア リー バートン